

(様式第 2 号)

SDGs 達成に向けた宣言書 (要件 1)

令和 5 年 12 月 1 日

所在地 山梨県山梨市牧丘町倉科 7143  
企業名 株式会社 Cantina Hiro  
代表者 広瀬 武彦

当社は、SDGs の内容を理解し、SDGs 達成に向けた方針及び取組を下記のとおり宣言します。

記

SDGs 達成に向けた経営方針等

自然農法で、循環型農業を実施し、化学肥料・農薬の利用を減らし、環境にやさしい農業を実施する。

3 側面 (主な分野にレ)	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	重点的な取組及び 指標の進捗状況	
			登録年月日：令和 4 年 12 月 1 日	
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	有機栽培に向けた取り組み ・地球温暖化対策：4 パーミル・ イニシアチブの取り組み ・有機認定されている農薬を利用 する。(R5 追加)	化学肥料の使用率 現状：5% →2030 年：0% 剪定枝のチップ化炭素化 現状：80% →2030 年：100% 有機認定の農薬を使用 現状：10% →2030 年：100%	化学肥料の使用 率：0% 剪定枝の炭素化 100% 有機認定農薬使 用率 10%	(進捗率) 66%
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	自然破壊にならぬよう高齢者の畑 の借入等を実施する。	ぶどう園の栽培面積 現状：3ヘクタール →2030年：5ヘクタール	耕作放棄地を借 入れて 40a を栽 培可能状態にし た。	(進捗率) 20%
<input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	ぶどう苗木オーナー制による来県 者の増加	ぶどう苗木オーナー数 現状：40 名 →2030 年：200 名	4名の申込があっ た。	(進捗率) 3%

2030 年の目指す姿

2030 年にはオーガニック栽培によるぶどう栽培を目指し、化学肥料の利用をゼロ、農薬を 2022 年の  
半分以下の利用に減らす。

【記載留意点】

- ・上記については「SDGs 達成に向けた経営方針等」を記載いただくとともに、（様式第3号）「SDGs 達成に向けた取組チェックリスト」（要件2）に記載いただいた取組を踏まえ、「SDGs 達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は、原則として数値目標を記載してください。
- ・「環境」、「社会」、「経済」の **3 側面の全てについて**重点的な取組を記載してください。該当する分野にチェックを入れ、取組が複数の分野にまたがる場合は、複数にチェックを入れてください。
- ・重点的な取組及び指標の進捗状況については、新規登録時は記入不要です。